

西日本インカレ男子結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

7/4～7に広島県において、西日本インカレ男子大会が開催されました。

広島大学男子の結果は、以下のとおりです。

予選 1 回戦 vs 愛媛大学

○2-0 (25-15、25-22)

決勝 1 回戦 vs 第一工科大学

●1-2 (25-22、15-25、18-25)

(最終結果)

優 勝 天理大学

準優勝 東亜大学

第 3 位 中京大学

第 3 位 福山平成大学

(広大バレー部 X (Twitter))

<https://twitter.com/hirodaiVOLLEY>

予選 1 回戦は第 1 試合の組合せとなり、大会の開幕試合で硬くなるかと心配しましたが、中四国で対戦して勝利していた相手ともあって、非常に落ち着いてプレーすることが出来ていました。相手が十分な形するときには失点していたものの、苦し紛れときにはブロッカー、レシーバーともにボールを追い過ぎることなく、タッチネットやボールのインアウトではほとんどミスがありませんでした。体の状態にはバラつきを感じましたが、調子の良い選手が試合を引っ張り、メンバーチェンジでも多くの選手が見せ場を作ってくれました。エースが常に絶好調、コート内の全員の調子が良い、なんてことはありませんので、状態の良い選手が他の選手をカバーすることはとても大切なことです。自分がどちらの立場になってもチームの勝利に貢献するためには、普段の練習から良い日もそうでない日もチームメイトに声をかけ続けることが欠かせません。悪かったから切り替えて明日、ではなく、悪かつ

たからこそ成長のチャンスと捉え、自分とチームに正面から向き合って欲しいと思います。

決勝1回戦は九州学連2部1位相当の相手との対戦になりましたが、力差はあまり感じませんでした。相手はレシーブが安定していて、3本目のミスが目立った1セット目は広大がきちんと見極めてセットを取りましたが、3本目のミスを意識的に減らしてきた2セット目以降は、お互いに決定力を欠くラリー合戦となり、レシーブ力で分のある相手に主導権を握られてからは巻き返すことができませんでした。見ている人からは女子のラリーみたい、と漏れ聞こえるほど試合時間も長く、膠着状態を打破する一手がない脆さが露呈した内容だったと思います。春先は課題だったセンター線が今大会では得点源になったことは良かったところですが、1本目が乱れたときやラリー中にセンター線が使えないときにできることがなく、リスクのある勝負に行つてミスをする繰り返しになっていました。サーブも入れるだけで、これで勝つ、というプランがチームとしてなくなっていたため、信頼関係の構築なしには、行き詰まったら試合終了、のチームから脱却することはできません。

中国勢では東亜、平成以外に、広島修道大学が決勝2回戦まで進出しました。修道の1回戦は、個の能力としては相手が上だったものの、サイドアタッカー2人を軸にした攻撃で、やる事が非常にシンプルだったことが勝因だと感じました。また、優勝した天理大学は、これは2年前にも書きましたが、エースが何本連続でシャットされてもチームの信頼がブレないところに、並外れた練習量とその質の高さを感じました。この2チームから学べることは、最後は結局シンプルな形が求められること、そして、その形をどこまで追求できるかが勝負を分けること、この2つだと思います。今の広大はスパイカー5人が上級生、セッターが下級生のメンバー構成ですが、大事な試合の大事な場面、これを落とすと4年生の引退が懸かるような場面で誰にボールを託すのか、現状は誰に託しても結果が伴わなかったときに間違いなく異論が出る状況です。秋には部員26人、誰に聞いても同じ答えが返ってくるように、夏の練習に励んで欲しいと思います。信頼は一日や一試合で築かれるものではありません。毎日の行動・言動の積み重ねであることを忘れることなく過ごしていきましょう。

西日本インカレの広島大会は、中国学連が主催する最も大きな大会で、学連委員長の尾崎(4年・鳥取・米子東高校)、副委員長の和田(3年・広島・賀茂高校)をはじめ、多くの学生が運営に尽力してくれました。また、審判員の先生方にも多方面でサポートいただき、無事に閉幕することができました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。今大会は、大学スポーツ協会(UNIVAS)の学生スタッフも取材に来てくれていて、一人は神戸大学の学生でした。彼女からは大学スポーツを盛り上げたい意志が強く伝わってきて、他競技に触れることはとても新鮮で勉強になると話していました。広大の学生は中国学連として既に力を発揮してくれていますが、競技の垣根を越える考え方も視野を広げる上でとても大切なこ

とです。限りがある学生生活の時間をどう使うかは自分次第です。自分の力と意志で実りの多い夏になることを期待しています。

(参考：UNIVAS STUDENT LOUNGE 4期生募集)

<https://univas.jp/find/lounge/article/20240128882946/>

今大会もたくさんのご声援をいただき、誠にありがとうございました。

今後は、今週末に男子がビーチバレーに、来週末に男女が天皇杯・皇后杯広島県予選に出場を予定しています。

引き続きよろしく願いいたします。